



朝霞市長
富岡 勝則

未来への飛躍を目指して

明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を、健やかに迎えのとお喜び申し上げます。

昨年は、全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技の和光市との共同開催、八都府市合同防災訓練の埼玉県との共同開催といった大きな事業を実施しましたが、関係者や多くの市民の皆様のご協力により、成功裏に終了することができました。また、朝霞第四小学校・朝霞第五小学校の改築工事に着工したほか、校舎等の耐震補強工事が全校において完了いたしました。さらに、国の重要文化財に指定された「旧高橋家住宅」の開園、高齢者安心見守り通報システム事業の開始、根岸台四丁目と八丁目の緑地の取得、向山土地区画整理事業の完了など、市議会をはじめ多くの皆様のご理解とご協力を賜り、各事業を実施することができました。心から御礼を申し上げます。

さて、世界の金融資本市場の危機の影響から世界経済が弱体化しつつあるといわれる中、我が国の経済も景気後退局面に入り、企業倒産の増加や雇用の悪化など今後も予断を許さない状況にあります。地方自治体におきま

ても、財源確保が重要課題である一方で各種施策の実施要望が増えており、その運営は大変厳しい状況にあります。朝霞市も同様であり、限られた財源を効率的に運用しながら、第四次総合振興計画に位置付けた将来都市像「水と緑に満ちた やすらぎと生きがいのあるまち 朝霞」の実現に向け、都市基盤の整備や生活環境、教育・福祉などの各種施策を計画的に進めたいと考えております。

ここで本年の主な事業を申し上げますと、朝霞市地域防災計画を改定し、安心・安全なまちづくりを推進いたします。また、市民と行政の協働指針の策定、(仮称)膝折市民センターと(仮称)ひざおり児童館の開所、市町村交通災害共済制度の導入、プラスチック類処理施設の稼働などを予定しております。

年頭に当たり、市民生活の一層の充実と活力あるまちづくりのため、さらなる飛躍を目指し市政の諸課題に積極的に取り組んでまいりる所存でございます。どうぞ本年も、市政に対する変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。





朝霞市議会議員長
陶山 憲秀

年頭にあたり

明けましておめでとうございます。
平成21年の年頭にあたり、市議会を代表いたしまして、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

市民の皆様には、平素から市議会に対して温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ノーベル賞に日本の方が、物理学賞、化学賞と受賞され日本人の功績が世界に認められたことは、たいへん喜ばしいことであります。

しかし、こうした明るい話題の一方で、経済においては、世界的な金融危機の影響が日本経済の先行き不透明感を強め、また、食品に関しては、偽装表示や異物混入等の事件により日常の食生活に不安を与えるような出来事がありました。誰もが、安心・安全な生活を営めるように適切な対応をしていくことが喫緊の課題であると深く認識させられた年でもありました。

こうした社会経済情勢や、市民生活を取り巻く問題は、複雑、多様化してきており、地

方自治体に求められている課題は山積しております。限られた財源で、施策を遂行していくためには、継続的で安定した行財政運営を行っていくことが必要不可欠です。市では、その課題解決に向けて市民等と行政がそれぞれの役割を分担し、協力して取り組む協働でつくるまちづくりを目指し、第4次朝霞市総合振興計画の中で「市民がつくり、育てるまち」を基本理念として、さまざまな施策の実現に努めているところであります。

私たち市議会は、施策の必要性を見極め、市民の皆様のご意見・ご要望の声を市政に反映させ、朝霞市の将来が活気あふれる魅力的なまちに進展していくことに全力を傾注していく所存でございます。安心・安全なまちづくりに向けて危機意識を持ちながら、積極的に議論を尽くし、議決機関としての機能を果たすべく、思いを新たに組み組む決意です。

本年も、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。